

3・2 青潮発生状況

2023 年 4 月から 2024 年 3 月までの青潮発生状況を表 2 に示す。9 月 25～28 日に発生した青潮では、船橋港内でカキ及びハゼのへい死、船橋市立湊中学校北岸水路付近でハゼのへい死、二俣川でコイのへい死報告があった。また、10 月 6～10 日に発生した青潮では、船橋港内でカキのへい死報告があった。その他の 2 回の青潮については、いずれも 2 日程度で解消し、漁業被害等の報告はなかった。

表 2 2023 年度の青潮発生状況

期間	発生場所（最大時）	漁業被害等
5/25～5/26	船橋航路～茜浜～幕張沖	報告なし
9/4～9/5	船橋港内～船橋航路	報告なし
9/25～9/28	三番瀬～市川航路～船橋港～茜浜～幕張沖～稲毛の浜～千葉中央港、養老川河口付近、前川河口付近	カキ（船橋港内）、 ハゼ（船橋港内、水路）、 コイ（二俣川）の へい死報告あり
10/6～10/10	境川河口付近～市川航路～船橋港～茜浜～幕張沖	カキ（船橋港内）の へい死報告あり

3・3 青潮発生前日における周辺海域の水質

境川河口付近で青潮の発生が確認された 10 月 6 日の前日の 10 月 5 日に St.93（浦安沖東）で行った多項目水質計による鉛直方向水質調査データを図 2 に示す。St.93 の表層 DO は 7 mg/L 以上を示していたが、水深 6 m 以深では 0 mg/L に近い値を示していた。酸化還元電位（ORP）の値は、表層から水深 6 m 付近まで 100 mV 前後を示していたが、水深 6 m 前後で急激に低下し、水深 7 m 以深では負の値を示した。また、気象庁千葉気象観測所によると 10 月 4～7 日の期間では北西向きの風の連吹が観測されていた³⁾。これらのことから、10 月 5 日の時点では、貧酸素化した底層水は北西風の影響により表層付近まで湧昇してきているものの、表層の DO は 7 mg/L 以上が保たれ、ORP も酸化性の高い正の値を示しており、まだ青潮には至っていないことが水質データからも示唆される。

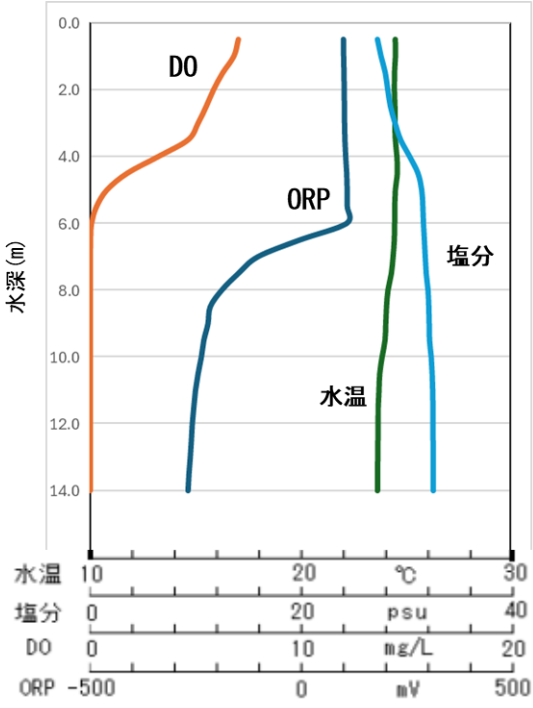


図 2 10 月 5 日の鉛直方向水質データ (St. 93)

引用文献

1) 飯村晃：東京湾のモニタリング．表面科学, 36 (4), 207-208 (2015)．
2) 東京湾の青潮発生状況．千葉県環境研究センター年報（2021～2023）．
<https://www.pref.chiba.lg.jp/wit/nenpou/index.html>（2024 年 8 月時点）．
3) 気象庁ホームページ：過去の気象データ
<https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>（2024 年 8 月時点）．